

ハイブリッドワークの時代に最適なワークスタイルの実現を。 レッツノートを中心として取り組んだ業務プロセスの改革と 企業文化変革への挑戦。



三井住友信託銀行 株式会社 様

導入時期：2023年
導入地域：全国

課題

在宅用PCの共用利用や管理負担、モバイル性不足がハイブリッドワークの障壁に。

解決策

オフィスと在宅用PCを、モバイル性に優れたレッツノートに一元化。仕事の場所を選ばない自分専用PCが、業務変革を実現。

“営業セクションを中心に全社でペーパーレスが加速し、役員打ち合わせも紙資料の印刷は不要に。対面ありきではない「多様な働き方」を実現できました。”



三井住友信託銀行
株式会社
執行役員
井茂 尊博 様

※所属は納入時のものです。

背景

従来PC環境が、多様な働き方を実現する妨げに。

当社では、DXを推進するなかで「業務プロセスと企業風土・文化の変革」を重要項目考えています。業務プロセスのデジタル化を業務改革の柱の一つとし、ペーパーレス化の実現に取り組んできました。そのなか、コロナ禍に直面したことと、ハイブリッドワークに適したPC環境の整備が急務となりました。

在宅勤務が十分に普及していない従来環境では、オフィス用PCは基本一人1台割り当てておりましたが、在宅用PCは部署ごとに決まった台数のノートPCを共用で利用していました。結果、マネジメント層が貸し出し状況を管理する必要があるほか、返却時や支店間でPCを移動させる場合はIT部門と別途連携が必要になるなど、従来の在宅用PCの管理体制は現場とIT部門両方に負荷をかけていました。また以前の標準PCはモバイル性の面でも課題がありました。これらを背景に「モバイル性が高く、仕事の場所を選ばないPC」の導入の検討を開始しました。

導入した理由

「モバイル性能、サポート体制、ネットワークへの接続性」がPC選定のカギ。

新たに導入するPCの選定に際して、当社が重視したのは大きく以下の3つでした。

一つ目は、モバイル性能です。レッツノートSRシリーズは12.4型のコンパクトな筐体かつ軽量設計であるため、ストレス無く持ち運びできる点において魅力的なPCでした。また、神戸工場で実際の使用シーンを想定した耐久試験や製造プロセスを見せていただき、安心して長く使い続けられるマシンであると判断しました。

二つ目は、サポート体制です。PCの持ち運び頻度が増えると共に、故障率の増加は避けられないと考えていました。パナソニックコネク트의拡張保証サービスは、物理的な破損や偶発的な事故など「自然故障以外のケース」であっても補償対象であったため、運用コスト面でも安心して依頼することができました。

お客様紹介

日本初の信託会社をルーツとする三井住友トラストグループの中核子会社として、個人事業、法人事業、投資家事業、不動産事業及びマーケット事業を擁し、高い専門性と総合力を駆使してお客様に最適なソリューションをご提供しています。

- 所在地 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
- URL <https://www.smtb.jp/>

レッツノート SR シリーズ

三つ目に、オンライン環境への接続性です。従来、当社では社内のネットワーク接続に有線LANを使用していました。そのため、会議室を利用する際の接続準備にかかるタイムロス無くすため、資料は紙で用意することもありました。今回、「有線LANポートとSIMの併用モデル」を導入したことで、機密性の高い情報は引き続き有線LANを使用し、それ以外は無線での接続ができる運用体制を実現しました。セキュアかつペーパーレス化を実現するネットワーク環境の構築、両方を実現できたのがレッツノートでした。

導入後の効果

業務プロセスの改革から企業文化の変革へ。 レッツノートがもたらした導入効果とは。

レッツノートの導入により、社員一人一人の働き方に見合った「自分専用のPC」が実現したと思っています。これまではオフィスと在宅時では異なるPCを使っていましたが、一台に統一したことで、社員がレッツノートを相棒のように愛着を持って使うようになってきています。

また、レッツノートとMicrosoft 365の組み合わせにより、情報連携や会議のスタイルも大きく変わってきています。以前は会議資料を紙で準備しておくことが主流でしたが、今では社員各々がPCを持参し、資料はモニターや共有済みファイルを同時閲覧することが習慣化されつつあります。さらにオンラインMTG機能の活用も進み、対面ありきではない「多様な働き方」へと変化が見られました。当社の大阪にある拠点では、役員との会議を含め社内会議はほぼペーパーレスになったとの話も聞いています。

レッツノートの導入は、ペーパーレスを中心とした業務プロセスの改革と共に、会社全体の組織文化の変革にも繋がってきています。それを象徴するエピソードとして、当社の経営陣が集まる会議においても紙の資料は使用せず、PCのみでプレゼンを行うようになり、反対に「なぜ紙なの？」との声まで挙がっています。トップレベルの働き方の変化、つまりは企業の風土や文化にも変化が表れていると感じています。



▲会議室を利用したミーティング時、レッツノートさえあれば、紙資料の準備も不要。ネットワーク接続にかかるタイムロスが無く、スムーズに会議を始められることで、会議の時間を最大限活用することができます。



▲レッツノートは軽量かつコンパクトなので、社内デスク、会議室、訪問先、自宅、あらゆる場所への移動の多い一日でも、ストレスなく目の前の仕事に集中できます。

今後の展望

企業文化変革へFutureXとレッツノートで描く未来。

ペーパーレス化をはじめとした業務プロセスの改革と、よりフレキシブルで生き生きとした働き方の実現に向け、当社では全社プロジェクト「FutureX」を24年の4月に立ち上げました。FutureXは、業務プロセス改革を通じて働き方を改革し、組織風土・文化の変革の実現を掲げています。共通作業プロセスの改革(やめる・変える)や、新技術の実装(生成AI等)など様々な活動テーマを進めていますが「コミュニケーション改革」も重要なテーマの一つです。

今回のレッツノートとMicrosoft365を中心としたコミュニケーション改革を進めると同時に、当社では全国約250の店部のPC利活用の推進役として、エバンジェリストを配置しています。エバンジェリストは、ツールの使い方を教育するだけでなく、現場ごとの課題を解決し、デジタル化への意識改革を進める重要な役割です。

こうした取り組みの結果、場所に縛られない業務スタイルが定着しつつあると考えています。今回のレッツノートの導入は変革を加速させる大きな一歩。引き続きコミュニケーションや意思決定、働き方の改革に取り組み、頑丈性と信頼性を兼ね備えたこのPCとともに、企業全体のカルチャー変革を進めていきたいと思っています。

関連機器

Let's note

ビジネスモバイルPC レッツノート

軽量&頑丈で持ち運びやすく、
高性能CPU搭載で作業がスムーズ。
ハイブリッドワークを快適にします。

※Intel、インテル、Intel ロゴ、その他のインテルの名称やロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

